

「司法書士一発合格法」の著者による 合格(うか)るやさしい勉強法

担当：田端恵子

1. 司法書士試験の内容

午前の部 択一式 35問

午後の部 択一式 35問, 記述式 2問 (不動産登記法・商業登記法)

午前択一・午後択一・記述すべてに基準点があり, すべての基準点をクリアし, かつ, 合格点数をクリアすれば合格する試験

年によって基準点や合格点は異なるが, 択一は8割以上・記述は6割以上の得点が求められる

試験科目と出題数

午前択一

憲法	民法	刑法	会社法
3問	20問	3問	9問

午後択一

民事訴訟法	民事保全法	民事執行法	司法書士法	供託法
5問	1問	1問	1問	3問

不動産登記法	商業登記法
16問	8問

2. 自己紹介

平成24年 宅建士試験合格 (受験回数1回), 年末から司法書士試験の勉強開始

平成26年 司法書士試験合格 (受験回数1回)

平成28年～平成30年3月 大学の司法書士講座を担当

平成29年2月～同年4月 講座「記述のルールTOP40」

平成29年10月～平成30年5月 講座「本番カトレーニング」

平成30年7月～ 講座「パーフェクトユニット方式一発合格田端基礎講座」

3. なぜ「基礎講座」なのか？

- ・合格に大切なのは基礎

(参考：H30 民法とパーフェクトユニットテキスト)

問 4	ア	P9	問 5	ア	P53	問 6	ア		問 7	ア		問 8	ア	P107
	イ	P69		イ	P56		イ	P79		イ	P90		イ	P107
	ウ	P47		ウ	P51		ウ	P80		ウ	P127		ウ	P107
	エ	P42		エ	P34		エ	ⅡP22		エ	P89		エ	P107
	オ	P35		オ	P53		オ	P124		オ			オ	P108
問 9	1	P126	問 10	ア	P130	問 11	ア	P137	問 12	ア	P139	問 13	ア	P187
	2	P126		イ	P130		イ	P136		イ	P140		イ	P188
	3			ウ	P129		ウ	P137		ウ	P140		ウ	P188
	4	P42		エ	P130		エ	P136		エ	P190		エ	P188
	5	P35		オ	P130		オ	P137		オ	P142		オ	P187
問 14	ア	P148	問 15	ア	P198	問 16	ア	ⅡP12	問 17	ア		問 18	ア	ⅡP78
	イ	P144		イ	P194		イ	ⅡP11		イ	ⅡP42		イ	
	ウ	P144		ウ			ウ	ⅡP14		ウ	ⅡP2		ウ	ⅡP92
	エ	P146		エ	P195		エ	ⅡP15		エ	ⅡP44		エ	ⅡP7
	オ	P151		オ	P196		オ	ⅡP13		オ	ⅡP44		オ	ⅡP90
問 19	ア	ⅡP127	問 20	ア	ⅡP167	問 21	ア	ⅡP178	問 22	ア		問 23	1	
	イ	ⅡP124		イ	ⅡP167		イ			イ	ⅡP206		2	
	ウ	ⅡP124		ウ	ⅡP167		ウ	ⅡP178		ウ	ⅡP206		3	
	エ			エ			エ	ⅡP178		エ	ⅡP207		4	ⅡP216
	オ	P132		オ	ⅡP168		オ	ⅡP178		オ	P10		5	

- ・受験生に負担の多い講座

4. 基本の勉強法と工夫

①講義を受ける
②①に該当する過去問を解く
③テキストに戻って復習する

※最初の1周以降は②→③が原則，必要に応じて①講義を再度聴く

①テキストと講義のリンク (P56～)

私がしていた方法	パーフェクトユニット方式
<p>すべてのテキストのページごとに，講義の第○回の○分○秒～のところで該当ページを話しているのかを書き込む (理由)</p> <p>わからない論点があって，そのページの講義だけもう1度聴きたくなった時に，その箇所だけ効率よく聴くため</p>	<p>すべての講義が1回で完結するユニット制。講義すべてのテーマが決まっているので (e x. 権利能力・未成年)，自分でページごとにメモをしなくても「もう1度聴きたいところだけ」講義を聴くことができる。</p>

②テキストと過去問のリンク (P64～)

私がしていた方法	パーフェクトユニット方式
<p>過去問番号をテキストの該当箇所に書き込む (理由)</p> <p>その論点の出題頻度・重要度の可視化。どれくらい理解していれば良いのかが見えてくる。未出論点がドコなのか？もわかる。</p>	<p>テキストと過去問は完全リンク。肢別過去問集はテキストの過去問掲載欄と出てくる順まで基本的に統一し，該当ページを探す手間を解消。また，復習講義の中で同一論点の過去問も伝えているので，理解できている過去問を少なく，理解できていない過去問を沢山解き，知識のムラをなくす勉強ができる。</p>

③復習の時どこまで戻るか？ (P61～)

私がしていた方法	パーフェクトユニット方式
<p>答え合わせをして正誤が合っていた肢も含めてすべてテキストに戻って論点を確認する (理由)</p> <p>正誤が合っても理由が間違っている・理解していなければ，同じ論点が形を変えて出題された時に対応できないから。</p>	<p>全ユニットに約30分の復習フォロー講義を提供。一緒に復習する中で，肢の論点のポイントをお話し，復習を完了。該当ページを長時間かけて一人で探す・論点のポイントを掴めないまま復習に何時間もかけるというムダを解消。</p>

5. 合格するために守っていただきたいこと

①毎日勉強し続けること

勉強はダイエットのようなもの＝無理なものは続かないので、ご自身の身体・生活に合わせて学習計画を立て、実行する。

☆これならできる！

毎日の終わりに、その日勉強した科目や時間をノートに書いて振り返る。毎日少しずつ前進していると感じ、努力し続けることができる。(P97～)

②問題を解きっぱなしにしないこと

過去問を解いたら、必ずテキストに戻って復習する。間違えた箇所は数日後に再度解き直し、理解することを目指す。

☆これならできる！

間違えた箇所はテキスト・過去問の両方に付箋を貼るなどしておく(P64～)，数日後の復習がしやすい。曜日などを決めておく(と習慣化できて◎)

③繰り返して知識の質を維持すること

どんなに一度完璧にしたと思っても、時間が経てば知識は抜けていってしまうので、メインの科目を進めながら、その前に勉強している科目も再度勉強する。

☆これならできる！

2周目以降は、まず過去問演習→テキストで復習をする。理解していないことがわかった論点の箇所だけ再度インプット講義を受け、わからないところを減らしていく。わからないことをわかるようにしていくのが合格するための勉強。

6. 講座選びのルール

①講座か独学か？

独学の方が費用はかからないが、負担となる作業は増える（テキストと過去問のリンク、法改正情報への対応等）。また、独学の場合はわからないことを質問する相手がいないので、理解に時間がかかる可能性もある。講座受講には費用がかかるが、これらの負担がないものであれば価値がある。

②消化できるカリキュラムか？

方法論も大事だが、「毎日続けられるカリキュラムか？」もすごく大事。ご自身の生活に組み込むことができるカリキュラムか検討する。

③講師の講義動画

ガイダンスやイベントの動画ではなく、日ごろの講義の動画を見る。ちゃんと説明できない講師・講義が下手な講師を選ぶと後悔することになるので、手間を惜しまず見る。

その講師・講座で大丈夫？講座 check シート

項目	Check
・聞き取りやすい声か？聞き取れる早さで話しているか？	
・「ココおさえといて下さい」「ココ覚えて下さい」を連発していないか？	
・テキストを棒読みしているだけではないか？	
・楽しそうに話しているか？	
・予備校で共通のテキストを使用していないか？ →共通のテキストの場合、追加レジュメなどの配布が多くなる可能性もある。他人が作ったテキストで講義をするのは大変だから。	
・講師のブログ・SNSの文章はわかりやすいか？ →わかりにくいなら、講義も下手である可能性が高い。わかりにくいことをわかりやすくするのが講師の仕事。	
・講師に直接質問できる制度はあるか？ e x . 講座専用ブログ、メール →返事が早いかどうかはなかなか知る手段がないのが困るところ。	

田端恵子

担当講座	パーフェクトユニット方式 一発合格田端基礎講座
著書	『パーフェクトユニット方式 田端恵子の記述問題集 必修問題30』 ①不動産登記法②商業登記法10月同時刊行予定 『だからあなたを合格（うか）らせたい！司法書士一発合格法』発売中 （すばる舎）
ブログ	「高卒で元ギャルの私が司法書士試験に一発合格した勉強法」 http://ameblo.jp/1patsu5kaku
Twitter	田端恵子（司法書士/辰巳専任講師） @tabata_keiko https://twitter.com/tabata_keiko

【MEMO】

絶対合格！ 田端恵子

辰 巳 法 律 研 究 所

大阪本校：〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田パークビル 3F

TEL06-6311-0400（代表）

<http://www.tatsumi.co.jp/oosaka/>

京都本校：〒604-8187 京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町 435

京都御池第一生命ビルディング 2F

TEL075-254-8066（代表）

東京本校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-6

TEL03-3360-3371（代表）

名古屋本校：〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-23-3 第2アスタービル 4F

TEL052-588-3941（代表）

福岡本校：〒810-0001 福岡市中央区天神 2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F

TEL092-726-5040（代表）

横浜本校：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-5 銀洋第2ビル 4F

TEL045-410-0690（代表）

【提携校】

岡山校：〒700-0901 岡山市北区本町 6-30 第一セントラルビル 2号館 8F

TEL086-236-0335（代表）